



学 年	低学年	中学年	高学年
人間関係形成・社会形成能力	あいさつ・返事をする ・自分から関わりをもととする。 ・友だちと仲良く遊び、協力し合って活動する。 ・お世話になった人に感謝したり、友だちに親切にする。 ・「ありがとう」「ごめんなさい」を言う。 ・友だちの発表の良さを見つける。 ・「いや」ということをはっきり言う。 ・自分の気持ちや考えをみんなの前で話す。	協力・信頼する ・友だちと協力し合って活動する。 ・友だちの良いところを認め、励まし合う。 ・先生や家族など、自分を支えてくれる人々に感謝する気持ちを持つ。 ・友だちの考えや意見をきちんと聞いたり、友だちの気持ちを理解しようとする。 ・友だちに対していけなしいことは「いけない」と言う。 ・自分の良いところや、改善するところを見つける。 ・自分の考えや気持ちをわかりやすく表現する。	協力・信頼する ・自分の役割と責任を明確にして、協力し合って活動する。 ・思いやりの気持ちを持ち、相手の立場に立って考え行動しようとする。 ・マナーを身につける。 ・自分の考えをわかりやすく言ったり、友だちの考えをしっかりと聞き、自分の考えと比べ、異なる考えも理解しようとする。 ・友だちであっても、違った意見をはっきり言う。 ・根拠を述べて、自分の考えを言う。
自己理解・自己管理能力	自分のことは自分でする ・自分の好きなもの・大切なものを持つ。 ・学校でして良いことと悪いことがあることが分かる。 ・自分のことは自分で行おうとする。 ・自分の身の回りの整頓をする。 ・決められた時間や約束を守る。	自分の役割に主体的に取り組む ・自分のよさを見つけることができる。 ・自分のやりたいことや良いと思うことを考え、進んで取り組む。 ・してはいけないことが分かり、自制しながら生活する。 ・進んできまりを守る。	自分の役割に主体的に取り組む ・自分の長所や欠点に気づき、自分らしさを発揮する。 ・自分のできることややりたい事が分かりそれを伸ばそうとする。 ・進んで役割を持ち、責任を持って果たそうとする。 ・生活や学習上の課題を見つけ、自分の力で解決しようとする。 ・意義を考えてきまりを守る。
課題対応能力	分からない事を調べる ・観察をしたり、図鑑を見たりする。 ・問題が起きたときにどうすればよいか考える。 ・自分が調べようとする課題を見つける。	見通しを持って計画的に行動する ・分からないことをや図鑑で調べたり、人に聞いたりする。 ・問題が起きたときに、その原因を調べ、何をすればよいかを考える。 ・課題について、それを解決するためにいろいろな方法で取り組む。	見通しを持って計画的に行動する ・資料やインターネットを利用して必要な情報を集め、活用する。 ・問題が起きたときに、その原因を調べ、解決策を考え、今後を予測する。 ・課題について、見通しを持って計画的に進めたり、そのやり方について改善を図ったりする。
キャリアプランニング能力	係や当番活動をする ・係や当番の活動をする。 ・栽培活動を通して、育てることの楽しさがわかる。 ・家の手伝いや当番・係の仕事・役割の必要性が分かり、進んでやる。 ・身近で働く人々の様子がわかり、興味・関心を持つ。	目標を持って努力する ・係や当番活動を工夫し、進んで取り組む。 ・色々な職業や生き方があることを理解する。 ・働くことの楽しさや、人のために役立つことの喜びが分かる。 ・日常生活や学習が自分の将来と結びついていることに気付く。 ・将来の夢や希望を持つ。 ・自分の趣味や関心、特技、将来の夢等について話す。	目標を持って努力する ・委員会の一員として自覚をもち、自発的に活動する。 ・身近な産業・職業の様子やその変化が分かる。 ・施設・職業見学等を通し、働くことの大切さが分かる。 ・社会生活には色々な役割があることやその大切さが分かる。 ・憧れとする職業を持ち、今、しなければならぬことを考える。 ・将来の夢や希望をもち、実現をめざして努力しようとする。 ・職業体験を通して、将来の夢を持つことができる。

キャリア・ログの活用：個々の児童がキャリア教育に関する振り返りを学年ごとにワークシートにまとめる

教科・領域等における指導目標

各教科	特別の教科 道徳	特別活動	総合的な学習の時間
○学習規律を定着させ、基礎的基本的内容を身に付け、表現力・判断力・思考力を高める。 ○授業で、児童の言語活動を充実させ、主体的に学ぶ態度・「話す力・書く力」を育成する。 ○学習課題を設定し、問題解決に向けて取り組む態度を育てる。 ○学習集団づくりを通して、つながり合い、高め合う態度を育てる。	○学校全体の教育活動を通して道徳的な心情、判断力、実践意欲と態度などの道徳性を養う。 ○働くことの大切さを知り、進んで働く意欲を養う。 ○目標を立て、希望と勇気を持ってくじけないで努力する態度を育てる。	【学級活動】 ○学級の一員としての役割を果たす。 ○話し合い活動を通して生活上の諸問題を解決する。 ○生活の充実と向上を目指して活動する。 【学校行事】 ○集団行動の望ましい態度や、協力する態度を育てる体験的な活動を行う。 【児童会活動】 ○学校生活をよりよくするため課題に向けて取り組み、問題を解決する。	○学び方やもの考え方を身に付け、問題解決や探究活動に主体的・創造的に取り組む態度を育て、自己の生き方を考えることができる。 ○自然体験やボランティア活動などの社会体験、見学や調査、観察・実験、発表や討論、ものづくりや生産活動など体験的な学習を通して、自ら課題を見つけ、学び、考え、主体的に判断し問題を解決することができる。

「つながり」を深める

保・小・中の連携	家庭との連携	地域との連携
情報を共有し、連携して子どもたち一人一人の発達課題に対する指導・支援を組織的・系統的に行う。 ・小中一貫教育 ・保幼小連絡会 ・小中連絡会 ・十小こども文化発表会 ・研究授業の交流 など	家庭と学校との「つながり」の中で、子どもたちに社会人・職業人としての自立を促していく。 ・地域懇談会 ・家庭学習の手引き ・手伝いの奨励 ・生徒指導便り ・家庭読書 など	地域の大人を招く機会を多くつくり、ふれあいの中から、子どもたちにあこがれの大人のイメージを持たせて、「なりたい自分」の姿を具現化させる。 ・人材バンク ・生活科の取り組み ・総合的な学習の時間の取り組み（地域課題へ取り組む探究的な学習） ・十小パートナーシップ制度 ・コミュニティ・スクールの推進 など